

報 告

第 15 回子どもの福祉用具展 —キッズフェスタ 2016—

一般財団法人 太田総合病院附属 太田西ノ内病院 武藤 晶

1. はじめに

第 15 回子どもの福祉用具展キッズフェスタ 2016 が平成 28 年 4 月 16 日、17 日の 2 日間、東京都にある TRC 東京流通センターにて開催された。その模様を報告し、感想を添える。

2. 展示品、セミナーについて

今回の展示会では、59 社の企業・団体が参加し、車いす(電動、バギー含む)、姿勢保持具(座位・立位・臥位保持装置、カーシート、クッション等)、義肢装具、歩行補助具、衣料品(スタイ、衣類、保護帽、くつ等)、寝具関連(ベッド、マット等)、スイッチ・コミュニケーションエイド、食品関連(食器等)、建築関連(リフォーム、スロープ等)、遊具、福祉車両、アイデアグッズ、生命保険など多分野におよぶ展示がなされていた。

また、2 日間にわたりセミナーも開催されていた。企業だけではなく東京都理学療法士協会・東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士会による合同セミナーや「重度障がい児の遊びと姿勢」と題した岸本光夫先生による特別セミナー・講演会が開催され、定員を超える参加者が聴講していた。

3. 会場の様子

会場では、ユーザーである子どもとその家族が多く来場していた。皆、ただ見ているだけではなく、車いすやバギー、歩行補助具等に乗って動いたり、座位保持椅子に座ったりと実際に使用している場面に多く遭遇した。各種の福祉用具の使用を通して、子どもたちは自分の力で動けることを

楽しみ、両親は子どもの新たな反応に喜んでいる様子が見受けられた。また、家族と企業の担当者が熱心に情報交換をし、様々な福祉用具からユーザーに適した用具を選択できる良い機会となっていた。

今回展示されていた福祉用具は、機能性だけではなく利便性を兼ね備えた機器が目立った。未発売ではあるが、座位保持椅子やシャワーチェアとして使用でき、さらにロッキングチェアのように揺れる機能もついた軽量で折り畳み式の 1 台 3 役にもなる機器が展示されていた。バギーについては、多くの荷物が載せられ、且つ、折り畳みがし易く改良されたニューバージョンや、軽量でコンパクトな機器が展示されていた。また、パイプやシートのカラーバリエーションやデザインが豊富になり“かわいい”と感じる福祉用具が多かった。

最近では、デザインを重視して機器を選ぶユーザーもいる。機能性を備えていることを大前提に、多様なユーザーの様々なニーズに対応した機器が、今後さらに増えてくることを期待したい。

4. おわりに

キッズフェスタは、専門職だけでなくユーザーである子どもとその家族が、一度に多様な福祉用具を比較し体験できる大変良い機会である。しかし、東北地方では子どもを対象にした福祉用具展が開催されることは少なく、交通弱者になりやすいユーザーが遠方で開催される展示会に参加できる機会は限られている。そのため、都市部だけではなく地方のユーザーも参加できるよう、今後はキッズフェスタの地方開催に大いに期待したい。

一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院
〒963-8558 福島県郡山市西ノ内 2-5-20